



相続税の申告書 第4表の付表

相続税額の加算金額の計算書付表

被相続人

E01

1措置法第70条の2の2（直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税）第12項第1号に規定する管理残額がある場合

この表は、相続、遺贈や相続時精算課税に係る贈与によって財産を取得した人のうちに、被相続人の一親等の血族（代襲して相続人となった直系卑属を含みます。）及び配偶者以外の人がいる場合において、それらの人のうちで、租税特別措置法第70条の2の2（直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税）第12項第1号に規定する管理残額（平成31年4月1日から令和3年3月31日までの間であって、被相続人の相続開始前3年以内に被相続人から取得した信託受益権又は金銭等に係る部分に限ります。）で被相続人から相続や遺贈により取得したものとみなされたものがある人が記入します。
（注）一親等の血族であっても相続税額の加算の対象となる場合があります。詳しくは「相続税の申告のしかた」をご覧ください。

加算の対象となる人の氏名		E02	E03	E04	E05
各人の税額控除前の相続税額(円) （第1表⑨又は第1表⑩の金額）	①	G01	G08	G15	G22
被相続人から相続や遺贈により取得したものとみなされる管理残額のうち、加算の対象とならない部分の金額(円) （裏面の「2」参照）	②	G02	G09	G16	G23
被相続人から相続、遺贈や相続時精算課税に係る贈与によって取得した財産で相続税の課税価格に算入された財産の価額(円) （第1表①＋第1表②）	③	G03	G10	G17	G24
債務及び葬式費用の金額(円) （第1表③）	④	G04	G11	G18	G25
③－④(円) （赤字のときは0）	⑤	G05	G12	G19	G26
純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額(円)（第1表⑤）	⑥	G06	G13	G20	G27
加算の対象とならない相続税額（円） ①× $\frac{\textcircled{2}}{\textcircled{5}+\textcircled{6}}$ （①を超える場合には、①を上限とします。）	⑦	G07	G14	G21	G28

（注）

1「加算の対象となる人の氏名」欄には、相続や遺贈により取得した財産のうちに相続や遺贈により取得したものとみなされる管理残額（平成31年4月1日から令和3年3月31日までの間であって、被相続人の相続開始前3年以内に被相続人から取得した信託受益権又は金銭等に係る部分に限ります。）がある人の氏名を記載します。
2各人の⑦欄の金額を第4表のその人の⑤欄に転記します。

2措置法第70条の2の3（直系尊属から結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税）第12項第2号に規定する管理残額がある場合

この表は、相続、遺贈や相続時精算課税に係る贈与によって財産を取得した人のうちに、被相続人の一親等の血族（代襲して相続人となった直系卑属を含みます。）及び配偶者以外の人がいる場合において、それらの人のうちで、租税特別措置法第70条の2の3（直系尊属から結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税）第12項第2号に規定する管理残額（令和3年3月31日までに被相続人から取得した信託受益権又は金銭等に係る部分に限ります。）で被相続人から相続や遺贈により取得したものとみなされたものがある人が記入します。
（注）一親等の血族であっても相続税額の加算の対象となる場合があります。詳しくは「相続税の申告のしかた」をご覧ください。

加算の対象となる人の氏名		E06	E07	E08	E09
各人の税額控除前の相続税額(円) （第1表⑨又は第1表⑩の金額）	⑧	G29	G36	G43	G50
被相続人から相続や遺贈により取得したものとみなされる管理残額のうち、加算の対象とならない部分の金額(円) （裏面の「3」参照）	⑨	G30	G37	G44	G51
被相続人から相続、遺贈や相続時精算課税に係る贈与によって取得した財産で相続税の課税価格に算入された財産の価額(円) （第1表①＋第1表②）	⑩	G31	G38	G45	G52
債務及び葬式費用の金額(円) （第1表③）	⑪	G32	G39	G46	G53
⑩－⑪(円) （赤字のときは0）	⑫	G33	G40	G47	G54
純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額(円)（第1表⑤）	⑬	G34	G41	G48	G55
加算税の対象とならない相続税額（円） ⑧× $\frac{\textcircled{9}}{\textcircled{12}+\textcircled{13}}$ （⑧を超える場合には、⑧を上限とします。）	⑭	G35	G42	G49	G56

（注）

1「加算の対象となる人の氏名」欄には、相続や遺贈により取得した財産のうちに相続や遺贈により取得したものとみなされる管理残額（令和3年3月31日までに被相続人から取得した信託受益権又は金銭等に係る部分に限ります。）がある人の氏名を記載します。
2各人の⑭欄の金額を第4表のその人の⑥欄に転記します。